

自派

埼玉県職労学校支部

自治労埼玉県職員労働組合
〒330-9301 さいたま市浦和区高砂 3-15-1 埼玉県庁P-Box
TEL048-830-7781 FAX048-825-7062
連絡先 石山 越谷・新栄中
福田 川口養護学校



☆ New ☆

《埼玉県職労学校支部》誕生！

★埼玉学労と埼玉県職労とが組織統合★

今、学校は年度切替でとても忙しいですね。教員中心になりがちな学校では、県庁とはまったく違う負担が少教職種の事務職員らにかかってきます。

それぞれが自分で工夫しながら乗り切っていることと思います。あとひと息、お互いに頑張りましょう。そんな皆さんにビッグニュースです。

埼玉県職労30年の歴史をふまえて

えっ！あの埼玉学労が、ヘンシーン？

ホップ・ステップ・ジャンプ！



1976年10月に結成された埼玉学労。今日までおよそ30年。皆さんご存知のとおり、学校現場の声を代表して最先頭で闘ってきました。

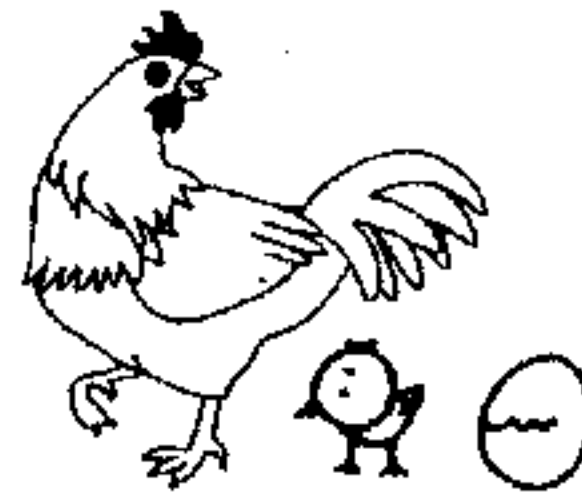
結成をホップとみると、ステップは結成後15年、高校部が加入し、さらに自治労加盟という大きな節目を経験したとき。30年で今回の県職労との組織統合。ジャンプです。

15年サイクルで「ホップ・ステップ・ジャンプ」。ここにめでたく「自治労埼玉県職員労働組合学校支部」誕生！ ご心配なく、学校の独自の課題は今までどおり、全くかわらずに全力で取り組んでいきます。また、今後、多くの皆さんの加入、合流によってさらに成長していきます。

私たちは、1年以上前から県職労との統合を検討してきました。昨年1月には県職労へ申し入れ、互いに議論を深めることを確認。埼玉学労は、7月の定期大会で統合を提案し、年末から再三の協議を重ねました。そして、今年1月に統合について組合員の一票投票を実施。ほぼ「全員の賛成を経て、3月には、埼玉学労と県職労がそれぞれ臨時大会を開いて組織統合を決定することができました。



なぜ、組織統合なの？



事務職員の中では有名な埼玉学労。でも私たちは社会に開かれた学校づくりをめざしてきました。だから埼玉学労自身も、旧来の組合とは違う新しい運動スタイルを求め自らを律してきました。

社会の中の学校事務職員＝業務職員＝司書であるために、県職労の広範なスケールメリットは財政的にも組織的にもとても大きなものです。県庁内に一室を構え(P-BOXといい、本庁舎地下にあります)。専属の職員(書記)もいます。また地域にも様々な組合員がいて、お互いに情報交換しながら、学校だけで孤立することなく地域の人たちとの交流もはかれます。

既に2003年秋には地方自治法が改正され、指定管理者制度が導入されました。今秋、中教審では義務教育費国庫負担金の決着がはかられます。補助金がはずこれ一般財源化されたあと、本格的な行革が襲ってきます。今の県財政をみると、知事の方針の強行は避けられない情勢です。県職労との統合で、より広範囲なたにかう態勢が求められています。

組合員にあっただかく、当局にはきっぱりと。

既に述べた3月の臨時大会で県職労学校支部の方針も確立しました。

1. 誰もが国公8級水準
2. サービス残業をなくし、時間外全額支給
3. 休憩・休息時間の確保
4. 休暇制度の拡充
5. 業務の改善 (ほか)

私たちは県職員と力を合わせながら、学校現場の改善に向け、提案形の強力なたたかいを組んでいきます。そして一番肝腎なことは、組合員一人一人のあり方を認め、大切にしていけることです。

《あたたかくて、きっぱりした》県職労学校支部と一緒に働きがいのある職場を実現していきましょう。

学校で苦闘している事務職員、業務職員、司書の皆さん、是非、ひと回り大きくなった学校支部に加わって下さい。

3役一貫

自治労県職労学校支部
 支部長 石山 博
 越谷 新栄中
 副支部長 福田 隆雄
 川口養護学校
 " 松岡 幹夫
 羽生 村君小
 書記長 石川 俊三
 朝霞第五中
 書記次長 高野義康
 上尾 尾山台小

